

## 「南部地域子育て支援拠点施設整備基本計画(案)に係る意見募集/市民の意見と本市の考え方

○意見募集期間:令和7年1月17日(金曜)～令和7年2月7日(金曜)

○結果:提出者9名、意見22件(内訳:計画全般9件、施設運営について5件、管理運営について8件)

項目	市民の意見	本市の考え方
1	大変良い計画ですね。	
2	普段から子ども達の居場所や遊び場が少ないと感じていましたので、そのような場所ができることに賛成です。施設建設予定地が一ヶ岡ということもよいと思いました。	<p>この南部地域子育て支援拠点施設は、令和5年度に「みんなが つどい つながり はぐくむ こどもの居場所(キチ)づくり」を基本理念とする「基本構想」を策定し、令和6年度には、実現可能性の検証と具現化に向け、施設立地の検討から施設計画や配置計画などの基本計画を策定いたします。</p> <p>本市はかねてより、①天候に左右されず安心して遊べる屋内外の遊び場所、②子育て世帯がゆったりと集い、仲間同士の交流を通じた学びや安らげる場所、③楽しくワクワク感が味わえる場所が欲しいなどの声や、全ての世代が集う中での次世代の育成の重要性も高まる中、一ヶ岡市営団地の跡地利用を前提に子育て支援施設の整備を検討するものです。</p> <p>今回、整備予定地の「市営住宅D団地跡地」は、南街区と北街区から構成され、特に、南街区は、子育て世帯優先市営住宅と子育て支援施設を併設する「子育てエリア」を創設して子育てに優しいまちづくりを目指しています。</p> <p>また、基本計画の策定にあたっては、市民へのアンケート調査をはじめ、地域住民や子育て世帯、小・中・高校生、関係団体など様々な市民とのワークショップで意見を聴取して、基本計画(案)を検討してきました。</p> <p>特に高校生ワークショップは、延岡工業高校生活文化科3年生・20名は授業の一環として、また聖心ウルスラ学園高校では、生徒会を中心に2年生12名に参加いただくなど、次代を担う若者の意見聴取を行ったところです。</p> <p>今後、施設建設費やランニングコストを含めた詳細設計をはじめ、人員配置計画や管理運営計画などは、更なる専門家による検証や利用を想定する高校生等の意見を踏まえて検討する必要があるため、来年度以降の基本設計・実施設計の策定の中で、さらに精度を高めていきます。</p>
3	市営住宅の跡地に子供を対象にした施設が出来ることは良いことだと思います。	
4	細かな部分まで計画が練られていて、大変すばらしいと思います。あえて言うならば、万が一、後々不便が出た場合等に、施設に余裕がないように感じますが、しっかりといろいろな意見を吸いあげてらっしゃるようですので、杞憂かと思えます。	
5	子育て支援施設を作る事は必要です。十分に検討して良い施設を建設して下さい。	
6	年令的にもう少し若い人の意見を聞いた方が良いと思います。	
7	高校生とのワークショップは、すごく良かったと思います。これから、家庭を持つのは、未来の延岡を支えるのは今の高校生と思うからです。どのくらいの(人数)高校生に聞いたのでしょうか?高校生が学習として使用するなら～の話だと思いますが、自分が親になったら自分の子供達に使わせたい場所、又は一緒に親子で行くんだったら「こんなキチだったら行きたい」を延岡市内の全員の高校生に聞いてほしいです!!使用するの、ワークショップで意見を言う。言える様な子供達ばかりではないでしょう。まじめな子供達ばかりではないと思いますので…。	
8	一年前に引越したばかりで市内についてあまり知らない。また、結婚や子育ても経験しておらず、意見を求められて困惑している。箱ばかり立派で使いづらい建築物とならないよう、誰かの自己満足の計画にならないよう税金を正しく使用して下さい。役に立つ意見とならず大変申し訳なく思います。	
9	計画の趣旨や目的に賛同しますが、諸物価高騰の折、施設の建設費やランニングコストに配慮しつつ進めていただければと思います。	

	項目	市民の意見	本市の考え方
10		出来るだけ、広く、スペースを使って下さい。駐車場台数がピーク時には少ない様な気がします。	
11		駐車場は、立体駐車場にして、津波対策や防災グッズや品など立体駐車場のの上に設置してはいかがでしょうか？延岡駐車場大事!!延岡せまい!!みんなが行きたいと思える場所を作らないとお金のムダになってしまうと思う。そのくらいなら一ヶ岡小学校に作ってしまったら良いと思う。	施設の敷地面積は、基本構想策定時の3,000㎡から、駐車場の最大限の確保等のワークショップなどでの意見や、南街区を「子育てエリア」として創設することなどを踏まえ、子育て世帯優先市営住宅と子育て支援施設との間に駐車場や屋外運動場による緩衝帯の設置等を考慮して、敷地面積を4,000㎡に拡大としたところです。
12	施設運営について	高齢者が多い地域でもあるので、高齢者の方々と自然な形でふれ合えるとよいです。	その中で、駐車場は、先進地事例や本市「えんキッズ」の利用状況、または専門的視点を踏まえ、常時50台程度を確保し、催事・イベント開催時は臨時駐車場（約20台）となる屋外運動場を配置します。また、北街区の駐車場や近隣のコミュニティセンター等の駐車場の利用も想定しています。
13		イベント企画では高校生・大学生の力を借りて、魅力のある行きたくなる内容をすい上げていけるといいなあと思いました。	施設計画では、施設の屋根裏を活用した避難・備蓄の設備設置を検討しており、地域の高齢者や高校生・大学生なども使用できる会議室や学習室の設置も予定しています。また、子育てに関わる各種団体・企業、市民グループなども含め、「(仮称)こどもサポーター」や「(仮称)遊び・学びのコーチ」として、「こどもをまんやかに」すべての人々が関わる仕組みや、施設運営の根幹となる専門員等の配置についても、基本設計の課題として、次年度以降に検討予定としております。
14		乳幼児対象のスペースについては、難しいかもしれませんが幸町のまちなかキッズホームのように、職員さんが直接子どもと遊んでくれると嬉しいです。子どもにとっては親以外の大人と関わることで新しい発見や刺激があり、親にとっても育児で煮詰まっている場合などは一息つける時間になると考えるからです。	

	項目	市民の意見	本市の考え方
15	管理運営について	居心地のよい空間にするには、あまり規制を作らず、自分たちでマナーを守っていけるような雰囲気づくりができるといいです。(すみません、言うだけです…)	<p>ゾーニングの検討にあたっては、こどもの年代によって体格や興味、活動などが異なることから、安全、快適性の確保の観点から年代ごとに適した活動の場が必要である一方、3つのゾーン（子育て支援、こどもの居場所、地域交流）の独自性と連携をさせるため「多目的ホール」を施設中央に配置する案をモデルプランとしたところです。</p> <p>また、イベント時の食の提供なども可能とする飲食スペースの確保や、キッズルームにはトイレや授乳室、幼児用シャワースペースなど、アンケートやワークショップでも多く聴かれた機能を設置予定としています。</p> <p>今後、基本設計において、分かりにくい空間イメージや使用方法などを、CGやスケッチ、模型などを作成し、市民の皆様の理解を深めていきたいと考えています。</p> <p>開館時間や実施事業、その他施設のルール等につきましては、運営開始までに定めていく予定としており、また、施設内への動線確保もこれからの課題であり、子育て世帯優先市営住宅の整備とも調整を図り、進入路の確保を含め、周辺住宅へも配慮した安心・安全な施設整備・運営について、住民説明会等も開催しながら検討していきます。</p>
16		キッズルームは、小学生以上は入れない様にし、未就学児の遊びやすい場所にする様お願いします。	
17		学習スペースについては、自由に席を選べるのも良いですが、運営後に余裕がある場合には、中学生と高校生、高校別などで部屋を大体分けられる仕組みを作ってもらえると嬉しいです。テスト期間や学習に対する意識の違いにより、周りと合わず集中できないといったリスクを少しでも減らすためです。	
18		モデル案のように飲食スペースは必須。	
19		簡易的なシャワー室もあると良いなと思います。	
20		開館時間は10時だと遅いので9時が良いです。	
21		食べもの関係だと人が集まりやすいと思いますので、ぜひ取り入れてほしいと思いました。	
22		私宅は、新しく施設ができる上の団地に住んでいます。とても静かな雰囲気の中で昭和53年から過ごして来ました。高台で通り抜けが出来ないので住んでる人や、配達など用事のある人の車しか上がって来ません。下に子供のための施設が出来るのは良いことなのですがひとつだけ気になるのは、子供や車で来る人がどこに行くのか興味半分です。登って来られるのではないかと思ったりしています。そこでかってなお願いですが「興味半分です。登ってくるのをしない様に前もって伝えておいて頂きたい!!」勝手な言い分です。申し訳ございません。	